

仕事も

パパ

も楽しもう

# 家事場のパパデカラを

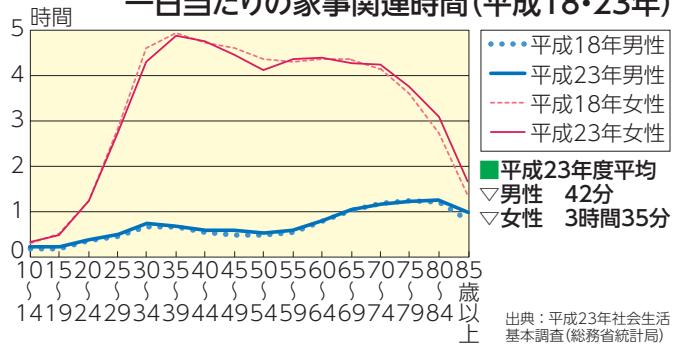
## 発揮してみませんか

男女共同参画社会の実現には、女性の社会進出を推進する一方、家庭でのパートナーであるという男性の意識・行動も重要です。それぞれの「仕事」と「家庭」の両立について、もう一度考えてみませんか。

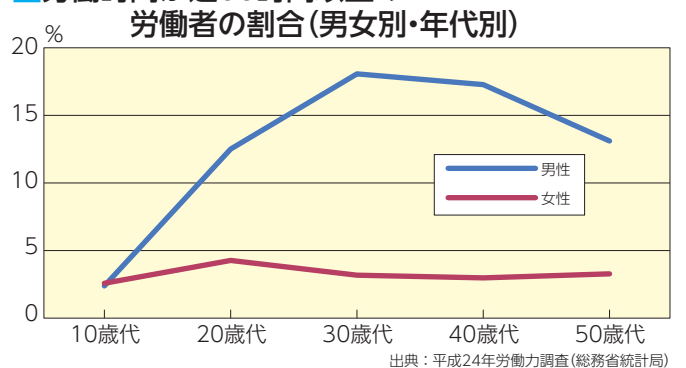
### 6月23～29日は男女共同参画週間

#### 1 男女、年齢階級別

一日当たりの家事関連時間(平成18・23年)



#### 2 労働時間が週60時間以上の労働者の割合(男女別・年代別)



▼西尾有司さん・花楓ちゃん・遥花ちゃん(上戸祭町)「妻の仕事が忙しいので、家事全般を手伝っています。時間が取ればみんなで遊びに行くようにしています」



▲佐瀬潤一さん・うららちゃん・のかちゃん(御幸ヶ原町)「休日はずっと子どもと一緒に遊んでいます」

### 男性の皆さん 家事に参加する時間は どのくらいですか

国の調査の結果、男性の家事に参加する時間は、1日当たり42分という結果が出ています(1のグラフ)。平成18年度と比較すると、男性はほぼ全ての年代で家事に関連する時間が増加している傾向にあります。女性の3時間35分に対し、依然と大きな差が見られ、家事・育児・介護などの負担は女性に大きく偏っ

ています。

男女が共に仕事と家庭を両立できるような環境を進めるためには、男性も積極的に家事に参加することが重要です。

### 男性の30歳～40歳代に多い 長時間勤務

男性が家事に参加することに大きく影響するのが労働時間です。男性の30歳～40歳代は、他の世代より長時間勤務の率が高くなっています(2のグラフ)。

### 家事や子育てなどに 参加するために必要な ワークライフ・バランス

男性が家事や子育てなどに参加するために必要なことを調べた結果、最も多かったのは「夫婦や家族間のコミュニケーションをよく図ること」でした。他にも男性自身の家事に対する意識改革や労働時間の短縮などが求められており、仕事と仕事以外の生活(家事・育児・地域活動など)との調和「ワーク・ライフ・バ

※「家事場のパパデカラ」は、国の平成26年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズです。

# 宮のイグメン

八幡山公園(埴田5丁目)で、休日子どもと過ごしているお父さんたちに、子育てなど家事について聞きました。

## イクメンになるための3つのポイント

1 子どもとお母さんの生活パターンを把握しよう 生活パターンを知るとこんな良いことがあります。▽寝かしつける時間に帰宅し、子どもを起こしてしまうことがなくなる▽この時間に帰ればお風呂に入れてあげられるなど、予定が組みやすくなる。

2 育児を楽しもう 子どもと一緒に過ごす時間はかけがえないもの。何でもチャレンジすることで「パパデカラ」を発揮してみませんか。

3 コミュニケーションが大切 お母さんへ「いつも頑張ってくれてありがとう」「子どもは見ているから、出掛けてきたら」など、ちょっとしたやささと1人の自由な時間。これだけで、育児中のお母さんのストレスはかなり軽減されます。



▼渡辺泰成さん・光琉くん(宝木本町) 「下の子が小さいので、上の子の面倒を見ています。他にも、ゴミ出しやお風呂洗いなど家事を手伝っています」



▲飯田昌英さん・成美ちゃん(駅前通り5丁目)「保育園の送り迎えをしています。休日や時間があるときは子どもと一緒に過ごすようにしています。共働きなので、妻が1人の時間を持つようにしています」

特集 ③

- 日本政策金融公庫 宇都宮支店
- ▽有休取得推進▽女性管理職候補者の育成
- カルビー 新宇都宮工場
- ▽時短勤務チーム創設▽他工場や他社との情報交換
- デュポン 宇都宮事業所
- ▽コアタイムのないフレックステル勤務▽女性管理職候補者の育成
- 栃木ミサワホーム
- ▽有休取得推進▽女性活躍推進協議会への参加

「ランス」への取り組みが重要です。

**企業も個人も取り組んでいます 宇都宮のワーク・ライフ・バランス**

本市では、皆さんのワーク・ライフ・バランスを推進するため、次の取り組みを行なっています。

■ 企業向け

- ▽啓発セミナーやガイドブックの配布。
- ▽男女の性別に関わりなく、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる

## イクメン奮闘記

かけがえのない時間を共有

花房1丁目の30代男性 妻、長男(5歳)、次男(1歳)の4人家族

次男が生まれ、妻が実家から戻ってきたタイミングで、1カ月間の育児休業を取得しました。取得の半年くらい前には上司と相談し、業務の調整や周囲の協力も得られたので、安心して育児に専念することができました。

育児休業中の私の役割りは、幼稚園に通う長男(当時4歳)のお世話。毎日の送迎と遊び、合い間の買い物・洗濯などの家事をこなすという間に1日が終わってしまい、まさに育児に休暇といった日々でした。夜は子どもを寝かし付けているつもりが、自分も寝てしまうほどぐたぐたでしたが、物心つくこの時期にかけがえのない時間を共有できたことで、記憶の中に父親としての役割りと存在感を残せたのではないかと思います。



▲男性の家族参画促進講座

事業者を「きらり大賞」として表彰。

■ 市民向け

- ▽男女共同参画推進センター(明保野町)などで、男

性の家庭参画促進講座など各種講座やイベントなどを開催。

**理想のバランスに向けて一歩ずつ**

ワーク・ライフ・バランスは、個人や年代によって異なるものです。皆さんの理想とする生活のバランスをもう一度考え、ワーク・ライフ・バランスを実践し、「家事場のパパデカラ」を発揮してみませんか。

④ 男女共同参画課 ☎(632) 2346

◎男女共同参画パネル展 ▽期日 6月20~29日▽会場 男女共同参画推進センター(明保野町)▽内容 平成25年度男女共同参画社会づくり標語・4コマまんががコンクール入賞作品や、男女共同参画意識を高めるためのパネルなどの展示。◎男女共同参画推進センター ☎(636) 4075